

## [総会資料と決定事項]

## 日本透析医会通常総会資料および主な決定事項

日本透析医会通常総会が平成16年5月16日（日）午後2時から  
損保会館（東京）にて開催された。以下に、その際の資料（抜粋）  
と主な決定事項を報告する。

（社）日本透析医会通常総会資料  
平成15年度事業報告書  
平成15年度収支決算書  
平成16年度事業計画（案）  
平成16年度予算（案）

平成16年度通常総会での主な決定事項

（社）日本透析医会通常総会議事録

（社）日本透析医会役員名簿

## (社) 日本透析医会通常総会資料

### 第1号議案

### 平成15年度事業報告書

#### 第1会議

##### 総会

##### 1. 平成15年度通常総会

- 平成15年5月18日 第1号議案 平成14年度事業報告及び収支決算の承認を求める件  
第2号議案 平成15年度事業計画及び予算の承認を求める件  
第3号議案 役員任期満了に伴う新役員承認を求める件  
第4号議案 その他

##### 理事会

##### 1. 平成15年5月18日

##### 通常総会付議事項

- 第1号議案 平成14年度事業報告及び収支決算の承認を求める件  
第2号議案 平成15年度事業計画及び予算の承認を求める件  
第3号議案 役員任期満了に伴う新役員承認を求める件  
第4号議案 その他

##### 常任理事会

##### 1. 平成15年4月25日

##### 協議事項

- (1) 役員任期満了に伴う新役員承認について  
(2) CD-ROM：透析診療マニュアルの有償価格の設定について  
(3) 支部長会（6月21日開催）の議題について  
(4) 職員の採用について  
(5) 長期透析に伴う合併症の克服に関する研究（MINT）経費の負担について  
(6) 日本透析医会理事の就任要請について

##### 報告事項

- (1) 透析医療のグランドデザイン作成における中間報告について  
(2) 平成14年度厚生労働科学研究費補助金（効果的医療技術の確立推進臨床研究事業）事業実績報告書等の提出について  
(3) 平成14年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）事業実績報告書等の提出について  
(4) 平成15年度厚生労働科学研究費補助金（効果的医療技術の確立推進臨床研究事業）研究計画書の提出について

## 2. 平成 15 年 5 月 18 日

## 協議事項

- (1) 平成 14 年度事業報告及び収支決算の承認を求める件
- (2) 平成 15 年度事業計画及び予算の承認を求める件
- (3) 役員の任期満了に伴う新役員の承認を求める件
- (4) その他

## 3. 平成 15 年 6 月 27 日

## 協議事項

- (1) 著作権処理に係る手続きについて
- (2) 生物由来製品・特定生物由来製品に関するお知らせについて
- (3) 医会年会費の見直しについて

## 報告事項

- (1) MINT サーバーの導入について
- (2) 災害時ネットワーク・サーバーのレンタルについて
- (3) 日本透析医会（理事・幹事）の就任要請について
- (4) 平成 14 年度事業報告及び収支決算並びに平成 15 年度事業計画及び予算等の報告について（厚生労働省提出）
- (5) 役員改選の届出について（厚生労働省提出）
- (6) 平成 14 年度事業計画及び予算の変更について（厚生労働省提出）
- (7) ホームページ掲載について（停電時における透析患者の安全確保他 1 件）
- (8) 社団法人変更登記申請について（東京法務局提出）
- (9) その他

## 4. 平成 15 年 7 月 25 日

## 協議事項

- (1) 災害対策委員会の「新メーリングリスト登録」について
- (2) 人工透析装置の保有台数調べについて
- (3) 16 年度診療報酬改定に対する要望書の作成について
- (4) その他

## 報告事項

- (1) 平成 15 年度年会費納入状況について
- (2) 平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）交付申請書の提出について
- (3) 平成 15 年度各委員会名簿について
- (4) レセプト調査の現時点での状況について
- (5) 透析施設での事故経過について（福岡県透析医会会長）
- (6) 「EPO 抗体陽性赤芽球癆に関する情報提供」のホームページ掲載について
- (7) その他

## 5. 平成 15 年 9 月 26 日

## 協議事項

- (1) 医会ホームページの掲載継続期間について
- (2) 奈良県支部の支部長人事について
- (3) 情報ネットワークサーバーの利用に関する内規について
- (4) 顧問弁護士（医療訴訟）および医療機関経営に関する顧問の設置について

- (5) 災害時緊急車両（緊急通行車両，交通規制除外車両）について
- (6) 平成 16 年度診療報酬改定に関する要望書について
- (7) 平成 15 年度臓器移植普及推進月間の主催及び臓器移植推進国民大会の後援依頼について
- (8) その他

## 報告事項

- (1) 臓器不全対策推進功労者厚生労働大臣感謝状贈呈候補者の推薦について（後藤武男先生）
- (2) 透析装置保有台数の現況調査報告に係る中間報告および会費区分の見直しについて
- (3) 15 年後の透析医療に関するグランドデザイン作成に関する研究の進捗状況について
- (4) 透析診療報酬に関する保険局医療課との協議について
- (5) 平成 15 年度厚生労働科学研究費補助金（効果的医療技術の確立推進臨床研究事業（脳卒中・生活習慣病の臨床研究））交付申請書の提出について
- (6) その他

## 6. 平成 15 年 10 月 24 日

## 協議事項

- (1) 会費の見直しについて
- (2) 災害情報ネットワーク事業への協力依頼について
- (3) 診療報酬改定に対する要望書について

## 報告事項

- (1) 特定公益増進法人の証明申請について
- (2) メーリングリストの追加について
- (3) レセプト調査の集計結果について

## 7. 平成 15 年 11 月 28 日

## 協議事項

- (1) 名義の使用許諾について（キリンビール）
- (2) メーリングリストへのメーカーの選出について
- (3) その他

## 報告事項

- (1) 要望書の提出について
- (2) 特定公益増進法人の証明について
- (3) 15 年度の中間決算について
- (4) SARS ガイドラインについて
- (5) 血液透析用ヘパリン生食液の製造販売に関する要望について

## 8. 平成 15 年 12 月 19 日

## 協議事項

- (1) 名義の使用許諾について（中外製薬）
- (2) ホームページ掲載について  
感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症予防・医療法）の改正について（ホームページ掲載について）

- (3) 平成 16 年度の支部長会議等の日程について
- (4) その他

## 報告事項

- (1) 全国透析施設へのお願いについて
- (2) 災害情報ネットワーク参加メーカーへの協力依頼について
- (3) その他

## 9. 平成 16 年 1 月 23 日

## 協議事項

- (1) メールによる、会議の開催案内、各資料等の送付について
- (2) 今年度未開催の委員会について
- (3) 厚生労働科学研究事業の新規申請に関して
- (4) その他

## 報告事項

- (1) 米国産ウシ等由来原材料の使用状況について（中外製薬）
- (2) 災害ネットワークに対する業者の参加状況について
- (3) 厚生労働省による公益法人の立入り検査（日程）について
- (4) JMA PRESS NETWORK（JPN）への加入について
- (5) その他

## 10. 平成 16 年 2 月 27 日

## 協議事項

- (1) ホームページへの掲載について
  - ① 平成 16 年度診療報酬改定の解説について
  - ② 熊本県内における B 型肝炎ウイルス院内感染の報告について
- (2) 会員への緊急警告および緊急勧告について
- (3) その他

## 報告事項

- (1) 広報委員会の報告について
- (2) 平成 16 年度診療報酬改定の解説について
- (3) 熊本県内における B 型肝炎ウイルス院内感染の報告について
- (4) 平成 15 年度仮決算の報告について
- (5) 平成 16 年度厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服緊急対策研究事業）研究計画書（継続）の提出について

## 11. 平成 16 年 3 月 26 日

## 協議事項

- (1) 平成 16 年度通常理事会及び通常総会の開催について

## 報告事項

- (1) 法人検査の結果について
- (2) 研修委員会報告について
- (3) 緊急勧告について

## 第2 委員会

## 平成15年度委員会開催状況

(平成15年4月1日～平成16年3月31日)

委員会	開催年月日	備考
1. 適正透析療法委員会		
(1) 適正透析導入部会		
(2) 維持透析療法部会		
(3) 適正透析普及部会	平成15年06月21日	
(4) 適正医療経済部会	平成15年06月13日	医療制度検討部会と合同
	平成15年06月21日	
(5) 医療廃棄物対策部会	平成16年03月26日	
(6) 在宅血液透析部会		
(7) 医療制度検討部会	平成15年06月13日	適正医療経済部会と合同
2. 医療安全対策委員会		
(1) 災害時透析医療対策部会	平成15年06月21日	
(2) 感染症対策部会	平成15年10月20日	厚生労働科学研究事業班会議（C型肝炎感染対策・事故防止）で関連事項審議
(3) 医療事故対策部会		
3. 合併症対策委員会	平成15年08月06日	
4. 腎移植普及推進委員会		
5. 腎不全予防医学調査研究委員会		
6. 研修委員会	平成15年09月04日 平成15年11月09日 平成16年03月07日	
7. 広報委員会	平成15年06月11日 平成15年10月09日 平成16年02月12日	
8. 情報管理委員会	平成15年09月26日	常任理事会で関連事項審議
9. 内規委員会		
10. 倫理委員会	平成15年08月29日	
11. 学会等助成審査委員会	平成15年06月27日 平成15年07月25日 平成15年09月26日 平成15年10月24日  平成15年12月19日 平成16年01月23日 平成16年02月27日 平成16年03月26日	第42回日本人工臓器学会大会 維持透析患者における悪性腫瘍の概要について 保存期腎不全患者データベース構築に関する研究 透析医療における高感度HCVコア抗原検査の有用性の評価について 第15回日本サイコネフロロジー研究会 平成16年度千葉県透析医会学術講演会 第24回日本アフレスス学会学術大会 第13回腎不全外科研究会 保存期慢性腎不全患者における酸化ストレスと腎障害進行に与える影響 JAPAN-KD study

委員会	開催年月日	備考
12. 学会等研究助成交付審査委員会	平成 15 年 09 月 12 日 平成 16 年 03 月 12 日	第 42 回日本人工臓器学会大会 維持透析患者における悪性腫瘍の概要について 透析医療における高感度 HCV コア抗原検査の有用性の評価について 第 15 回日本サイコネフロロジー研究会 平成 16 年度千葉県透析医会学術講演会 第 24 回日本アフェレシス学会学術大会
13. 厚生科学研究推進委員会		厚生労働科学研究事業班会議で関連事項審議

### 平成 15 年度委員会報告

#### 1. 適正透析療法委員会

##### (1) 適正透析導入部会

透析導入者審査委員会設置支部（栃木・愛知）に助成した。  
報告については 16 年度の医会雑誌に掲載する。

##### (2) 適正透析普及部会

（平成 15 年度 1 回開催）

###### 1) 診療報酬改定に向けて

###### 2) 長期透析に伴う合併症克服に関する研究成果の報告について

###### 3) 会員拡大について

以上について討議された。

##### (3) 適正医療経済部会

（平成 15 年度 2 回開催）

###### 1) 透析医療費の分析調査について検討を行い、病院及び診療所（182 施設）の協力を戴き、平成 15 年 6 月分外来透析レセプト集計が行われた。報告については平成 16 年度の日本透析医会雑誌（Vol.19-1）に掲載する。

###### 2) 次期 16 年度診療報酬改定に向けての要望に関し、以下について討議された。

###### ① 人工腎臓点数の適正評価

###### ② 透析液エンドトキシン処理加算点数の新規参入

###### ③ 専用透析室内感染対策加算の新規参入

##### (4) 医療廃棄物対策部会

（平成 15 年度 1 回開催）

###### 1) 感染性廃棄物処理の実態と問題点等について

###### 2) 透析医療機関（千葉県）の感染性廃棄物の現状アンケート調査結果について

以上について全国産業廃棄物連合会等の情報提供を中心に討議された。

##### (5) 医療制度検討部会

（平成 15 年度 1 回開催）

適正医療経済部会と合同で開催。

次期 16 年度診療報酬改定に対する要望について討議された。

## 2. 医療安全対策委員会

### (1) 災害時透析医療対策部会

(平成 15 年度 1 回開催)

1) 災害時情報ネットワークシステムの設立については、引続き検討し作業を進めており、現在 8 支部にシステム構築が実施されている。

2) 第 4 回災害時情報伝達訓練を行い、274 施設が参加した。

今回の訓練では、参加施設が任意に想定した災害時情報、または「近隣地域で阪神・淡路大震災の地震発生を知った」などの想定で情報を送信してもらい、各施設がどのような被害を想定したのかを集計した。

3) 災害情報ネットワークでは、インターネットを利用した災害時情報の収集・集計や伝達、都道府県透析医学会の広報活動に資することを目的に、平成 15 年 7 月専用サーバーをレンタル導入して運用を開始した。これに伴い「災害時情報伝達・集計専用ページ」「災害時メーリングリスト」もこのサーバーに移設した。

「災害時メーリングリスト」は、厚生労働省、日本透析医学会危機管理小委員会および統計調査委員、透析医学会情報ネットワーク委員の各先生（169 アドレス）が登録し、情報伝達網の拡充を図っている。来年度はさらに医薬品・医療機器メーカーの参加も予定している。

### (2) 感染症対策部会

(平成 15 年度 1 回開催)

透析医療施設における SARS 対策について、「ガイドライン」作成に向けて討議された。

## 3. 合併症対策委員会

(平成 15 年度 1 回開催)

平成 15 年度透析患者の合併症とその対策「透析患者の栄養障害」の発刊等について検討し、4 月に会員に送付する。

## 4. 腎移植普及推進委員会

臓器不全対策推進功労者厚生労働大臣感謝状受賞  
理事・後藤武男氏（高砂市民病院名誉院長）

## 5. 研修委員会

(平成 15 年度 3 回開催)

### (1) 支部の学術研究に助成した。

#### 1) 香川県透析医学会

研究課題：「各種栄養指標を用いた長期透析患者の生命予後に関わる危険因子の検討」

#### 2) 北海道透析医学会

研究課題：「北海道における高齢者透析並びに慢性透析患者における終末期医療：その現況と課題」

#### 3) 新潟県透析医学会

研究課題：「新潟県透析患者の QOL 調査の経年変化」

## (2) 支部が開催した研修会・講演会に助成した.

支 部 名	会 場	開催年月日
青森県透析医会	弘前市文化センター	平成 15 年 6 月 1 日
宮城県透析支部	フォレストホール・会議室	平成 15 年 12 月 7 日
島根県透析医会	ツインリーブス出雲	平成 15 年 4 月 13 日
鹿児島県透析医会	鹿児島サンロイヤルホテル	平成 15 年 5 月 24 日
熊本県透析施設連絡協議会	熊本大学医学部総合研究棟	平成 15 年 5 月 11 日
		平成 15 年 5 月 18 日
佐賀県支部	佐賀市文化会館	平成 15 年 11 月 23 日
香川県透析医会	坂出グランドホテル	平成 15 年 7 月 20 日
愛知県透析医会	名古屋国際ホテル	平成 15 年 11 月 30 日
大阪透析医会	リーガロイヤル NCB	平成 15 年 11 月 29 日

## (3) (社) 日本透析医会シンポジウムを開催した.

「維持透析患者の血圧管理」

日 時：平成 15 年 11 月 9 日（日曜日）

午前 9 時 30 分～午後 3 時 35 分

場 所：コクヨホール

司 会：大平整爾（札幌北クリニック）

頼岡徳在（広島大学大学院病態制御医科学講座）

講演者：鈴木洋通（埼玉医科大学腎臓内科）ほか 4 名

## (4) (社) 日本透析医会研修セミナーを開催した.

透析医療における Current Topics 2004

日 時：平成 16 年 3 月 7 日（日曜日）

午前 9 時 30 分～午後 3 時 35 分

場 所：コクヨホール

司 会：鈴木正司（信楽園病院）ほか 5 名

講演者：弓田 滋（医療法人宏人会腎内分泌研究部）ほか 5 名

## 6. 広報委員会

（平成 15 年度 3 回開催）

## (1) 日本透析医会雑誌の企画・編集等について、討議された.

## (2) 医会雑誌 Vol. 18 No. 1 発刊

- 1) 医療改革の方向性を探る
- 2) 糖尿病性腎症はどこまで防げるか
- 3) 血液浄化技術はどこまで進歩するか
- 4) 腎移植は日本でどこまで普及するか
- 5) 透析患者に対する医療保険はどうあるべきか
- 6) 透析患者が期待する透析医療
- 7) 透析における医療機器によるモニタリング
- 8) 岐阜県災害時透析医療情報システムについて

- 9) 透析腎癌の MRI 診断（病理所見との対比）
  - 10) 当院における online HDF 療法施行患者の 1 年間における臨床症状調査
  - 11) 透析患者における生命予後からみたコレステロール・血糖・体脂肪の管理
  - 12) チーム医療としての透析—医師の立場より—
  - 13) 平成 14 年度臨時総会報告
  - 14) 支部だより（栃木・島根）
- (3) 医会雑誌 Vol. 18 No. 2 発刊
- 1) 新しい経口リン吸着剤
  - 2) 腹膜透析・血液透析併用療法の有用性
  - 3) 腎性貧血とカルニチン
  - 4) 透析量への一考察
  - 5) 透析医療における看護度と人員配置
  - 6) 災害時緊急医療に対する海上からの支援—海上支援ネットによる危機管理
  - 7) わが国における腎移植の現状と問題点—2002 年の調査結果より—
  - 8) 透析医療におけるクリニカルパス
  - 9) 諸外国の透析医療制度
  - 10) 膠原病における血漿交換療法
  - 11) 臓器移植にかかわる血液浄化法
  - 12) 腎疾患治療の新しい展開
  - 13) 維持透析患者におけるマキサカルシトールの副甲状腺ホルモン分泌抑制と造血能に関する検討
  - 14) 血液透析患者のビタミン E・ビタミン C—特に腎性貧血との関係—
  - 15) 日本透析医学会通常総会資料および主な決定事項
  - 16) 支部だより（青森・香川）
- (4) 医会雑誌 Vol. 18 No. 2 別冊発刊
- 1) 長期透析に伴う合併症の克服に関する研究
  - 2) 血液透析施設における C 型肝炎感染事故（含：透析事故）防止体制の確立に関する研究
    - ・ HCV 抗体陰性患者の多施設長期追跡調査
    - ・ 「透析医療事故の定義と報告制度」及び「透析医療事故の実態」に関する全国調査について
    - ・ 院内感染および事故防止を考えた透析室施設基準の作成に関する研究
      - 「透析施設（室）の医療機関自己評価票」を用いた透析室の現状について—
    - ・ 「透析看護度と適正人員配置基準」に関する研究
    - ・ 限られた地域での透析患者のウィルス性肝炎および透析事故新規発生の経年的調査と症例検討およびスタッフ教育を通じた予防対策に関する研究
    - ・ 本邦の血液透析施設における C 型ウィルス肝炎感染の実態調査
- (5) 医会雑誌 Vol. 18 No. 3 発刊
- 1) 透析保険審査委員懇談会について—第 8 回透析保険審査委員懇談会報告—
  - 2) 透析医療はどこへ向かうのか
  - 3) 宮城県沖および宮城県北部を震源とする地震における災害情報ネットワークの活動報告
  - 4) 透析施設における SARS 対策
  - 5) 透析医療における医療安全管理対策—具体的促進に向けて—
  - 6) 中国ブロック 5 県における透析医療災害対策
  - 7) 長期透析患者の視覚障害

- 8) 血液透析患者における閉塞性動脈硬化症の診断と治療
- 9) 腎臓再生医療
- 10) 慢性血液透析患者における脳血管障害
- 11) 透析医療と pitfall —感染と事故と感染性廃棄物—
- 12) これからのブラッドアクセス維持管理について
- 13) 慢性腎不全患者における副甲状腺ホルモンと骨代謝
- 14) 血液透析における透析液中エンドトキシンの挙動
- 15) 支部だより (長崎・岩手・福岡)

7. 学会等研究助成審査委員会  
(平成 15 年度 7 回開催)

学 会 等	開 催 日
第 42 回日本人工臓器学会大会	平成 16 年 10 月 6 日～ 7 日
第 15 回日本サイコネフロロジー研究会	平成 16 年 6 月 27 日
平成 16 年度千葉県透析医会学術大会	平成 16 年 3 月 12 日
第 24 回日本アフェレシス学会学術大会	平成 16 年 11 月 19 日～20 日
第 13 回腎不全外科研究会	平成 16 年 7 月 9 日～10 日

研 究	研 究 内 容
維持透析患者における悪性腫瘍の概要について	九州・沖縄地区における維持透析患者の悪性腫瘍の罹患率, 部位及び透析療法との関係を明らかにする
保存期腎不全患者データベース構築に関する研究	保存期腎不全患者の特性を明らかにすること及び腎不全の進行に関与する因子を明らかにし, 保存期腎不全患者の腎機能保護療法の最適化に寄与すること
透析医療における高感度 HCV コア抗原検査の有用性の評価に関する研究	透析患者の院内 HCV コア感染防止対策において HCV コア抗原検査の活用が有用であるかどうかを明らかにすること
保存期慢性腎不全患者における酸化ストレスと腎障害進行に与える影響に関する研究	保存期慢性腎不全患者における貧血もしくはエリスロポエチン治療時の酸化ストレスが腎障害進行に与える影響を検討する
JAPAN-KD study	保存期慢性腎不全のレニン・アンジオテンシン系抑制下における低たんぱく食の意義—JAPAN-KD study—について研究

以上の学会及び調査研究について申請を受け, 審査した。

8. 学会等研究助成交付審査委員会  
(平成 15 年度 2 回開催)

学 会 等	開催日・研究事業
第 42 回日本人工臓器学会大会	平成 16 年 10 月 6 日～7 日
第 15 回日本サイコネフロロジー研究会	平成 16 年 6 月 27 日
平成 16 年度千葉県透析医会学術大会	平成 16 年 3 月 12 日
第 24 回日本アフェレンス学会学術大会	平成 16 年 11 月 19 日～20 日
維持透析患者における悪性腫瘍の概要について	平成 15 年度研究事業
透析医療における高感度 HCV コア抗原検査の 有用性の評価に関する研究	平成 15 年度研究事業

以上の学会及び調査研究について審査した。

## 平成 15 年度収支決算書

## 1. 収支計算書（平成 15 年 4 月 1 日から平成 16 年 3 月 31 日まで）

（単位：円）

科 目	予算 (A)	決算額 (B)	差異 (A)-(B)	備 考
I 収入の部				
1. 会費収入	78,000,000	79,080,000	-1,080,000	
2. 入会金収入	390,000	900,000	-510,000	
3. 寄付金収入	110,000,000	88,289,000	21,711,000	
4. 雑誌・マニュアル収入	30,000	905,622	-875,622	
5. 受取利息収入	6,000	644	5,356	
6. 参加費収入	0	429,000	-429,000	
当期収入合計 (A)	188,426,000	169,604,266	18,821,734	
前期繰越収支差額	9,925,000	19,704,719	-9,779,719	
収入合計 (B)	198,351,000	189,308,985	9,042,015	
II 支出の部				
1. 事業費				
透析医療適正化事業費	12,099,000	8,371,873	3,727,127	
地域透析医療システム事業費	10,646,000	8,566,450	2,079,550	
腎移植普及推進委員会	9,268,000	6,169,312	3,098,688	
腎不全予防医学調査委員会	112,000	0	112,000	
研修委員会	11,217,000	10,661,180	555,820	
広報委員会	10,981,000	11,266,815	-285,815	
情報管理委員会	0	0	0	
内規委員会	0	0	0	
倫理委員会	360,000	0	360,000	
学会等研究助成審査委員会	113,315,000	77,491,379	35,823,621	
厚生科学研究推進委員会	0	5,542,505	-5,542,505	
学会等研究助成交付審査委員会	270,000	52,722	217,278	
事業費合計	168,268,000	128,122,236	40,145,764	
2. 管理費				
人件費	11,475,000	13,056,211	-1,581,211	
家 賃	2,500,000	2,493,978	6,022	
その他経費	6,960,000	5,084,040	1,875,960	
管理費合計	20,935,000	20,634,229	300,771	
3. 予備費	2,000,000	0	2,000,000	
当期支出合計 (C)	191,203,000	148,756,465	42,446,535	
当期収支差額 (A)-(C)	-2,777,000	20,847,801	-23,624,801	
次期繰越収支差額 (B)-(C)	7,148,000	40,552,520	-33,404,520	

## 2. 正味財産増減計算書（平成15年4月1日から平成16年3月31日まで）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 資産増加額			
固定資産（銀行預金）増加額	1,714		
当期収支差額	20,847,801	20,849,515	
増加の部合計			20,849,515
II 減少の部			
1. 負債増加額			
退職金引当金繰入額	488,195	488,195	
減少の部合計			488,195
当期正味財産増加額			20,361,320
前期繰越正味財産額			185,519,577
期末正味財産増加額			205,880,897

## 3. 貸借対照表（平成16年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額		
I 増加の部			
1. 流動資産			
現金預金	47,014,502		
仮払金	71,340		
流動資産合計		47,085,842	
2. 固定資産			
(1) 固定資産			
銀行預金	162,003,200		
銀行預金合計	162,003,200		
(2) その他の固定資産			
電話加入権	563,372		
淡路建物ビル保証金	6,300,000		
警備保証金	50,000		
その他の固定資産合計	6,913,372		
固定資産合計		168,916,572	
資産合計			216,002,414
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	6,000,000		
会費預り金	8,000		
所得税預り金	312,713		
住民税預り金	73,200		
健康保険預り金	53,176		
厚生年金預り金	86,233		
流動負債合計		6,533,322	
2. 固定負債			
退職給与引当金	3,588,195		
固定負債合計		3,588,195	
負債合計			10,121,517
III 正味財産の部			
正味財産			205,880,897
（うち当期正味財産増加額）			(20,361,320)
負債及び正味財産合計			216,002,414

## 4. 計算書類に対する注記

## 1. 重要な会計方針

## (1) 退職引当金の計上基準について

期末退職給与の要支給額に担当する金額を計上することとしている。

## (2) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金・預金、仮払金、未払金、及び預り金を含めている。  
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

## 2. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	20,688,027	47,014,502
仮払金	70,300	71,340
合 計	20,758,327	47,085,842
未払金	0	6,000,000
会費預り金	64,000	8,000
所得税預り金	674,278	312,713
住民税預り金	97,000	73,200
健康保険預り金	76,060	53,176
厚生年金預り金	142,270	86,233
合 計	1,053,608	6,533,322
次期繰越収支差額	19,704,719	40,552,520

## 5. 財産目録（平成16年3月31日現在）

（単位：円）

科 目	金 額	
I 資産の部		
1. 流動資産		
現金預金		
現金 現金手許有高	48,763	
郵便振替	1,175,839	
普通預金 東京三菱銀行神田支店	28,928,366	
東京三菱銀行神田支店	6,538,073	
みずほ銀行神田小川町支店	243,641	
三井住友銀行神田支店	282,211	
りそな銀行神田支店	5,399,139	
りそな銀行神田支店	3,130,100	
りそな銀行神田支店	700,100	
りそな銀行神田支店	165,695	
りそな銀行神田支店	402,575	
仮 払 金	71,340	
流動資産合計		47,085,842
II 固定資産		
1. 銀行預金		
東京三菱銀行（普通預金）	162,003,200	
銀行預金計	162,003,200	
2. 固定資産		
その他の固定資産		
電話加入権	563,372	
保証金 淡路建物ビル保証金	6,300,000	
警備保証金	50,000	
その他の固定資産合計	6,913,372	
固定資産の部合計		168,916,572
資産の部合計		216,002,414
III 負債の部		
1. 流動負債		
未 払 金	6,000,000	
年会費預り金	8,000	
職員等に対する源泉所得税預り金	312,713	
職員等に対する住民税預り金	73,200	
職員等に対する健康保険預り金	53,176	
職員等に対する厚生年金預り金	86,233	
流動負債合計		6,533,322
2. 固定負債		
退職給与引当金	3,588,195	
固定負債合計		3,588,195
負債の部合計		10,121,517
正味財産		205,880,897

## 管理費内訳

(単位：円)

	平成 15 年度	按分率	按 分	
			管理費	事業費
人 件 費	26,112,420		13,056,211	13,056,209
給 料	20,596,561	50%	10,298,281	10,298,280
賃 金	2,620,000	50%	1,310,000	1,310,000
法定福利費	2,463,039	50%	1,231,520	1,231,519
通 勤 費	432,820	50%	216,410	216,410
家 賃	4,987,956	50%	2,493,978	2,493,978
その他経費	11,740,947		5,084,040	6,656,907
旅費交通費	540,775	50%	270,388	270,387
会 議 費	2,394		2,394	0
交際接待費	4,945		4,945	0
福利厚生費	192,979	50%	96,490	96,489
印刷製本費	488,145	50%	244,073	244,072
通信運搬費	1,342,549	50%	671,275	671,274
事務・消耗品費	1,661,443	50%	830,722	830,721
委 託 費	1,777,500	50%	888,750	888,750
報酬（要源泉）	666,666	50%	333,333	333,333
水道光熱費	334,513	50%	167,257	167,256
諸 会 費	252,110	50%	126,055	126,055
租 税 公 課	2,000		2,000	0
慶 弔 費	0		0	0
雑 費	502,835	50%	251,418	251,417
常任理事会費	3,040,633		263,480	2,777,153
総会・理事会費	931,460		931,460	0
合 計	42,841,323		20,634,229	22,207,094

## 監査報告書

社団法人日本透析医会の平成15年度決算報告につき慎重に監査した結果  
妥当なものと認めます。

平成16年4月16日

社団法人 日本透析医会

監事

岩月史郎 

監事

伊原美好 

監事

鈴木清 

社団法人 日本透析医会

会長 山崎親雄 殿

## 第2号議案

## 平成16年度事業計画書（案）

## 事業計画の概要

## 1. 透析医療の適正化に関する調査研究事業

適正な透析療法の検討に関する調査・研究

適正透析療法委員会 [委員会のもとに7部会を置く]

## ① 透析療法の質的向上と普遍化を目的とする調査・研究

## (1) 適正透析導入部会

適正な導入時期に関する調査・研究

## (2) 維持透析療法部会

適正な維持透析療法に関する調査・研究

## (3) 適正透析普及部会

適正な透析療法の普及推進を行う

## (4) 適正医療経済部会

適正な透析医療経済に関する調査・研究

## 1) レセプト分析

## 2) 施設機能評価の調査・研究

## (5) 医療廃棄物対策部会

・医療廃棄物対策に関する調査・研究

・平成15年度は、医療廃棄物有識者を招聘し、医療廃棄物の実態、資源リサイクル及び根拠法令等の説明会を実施した。

## (6) 在宅血液透析部会

在宅治療（CAPD・在宅血液透析等）の適応基準の調査・研究

## (7) 医療制度検討部会

医療制度における透析医療との関連に関する調査・研究

## 2. 地域医療システムに関する調査研究事業

透析施設間の相互連携による地域透析医療システムを確立するための調査・研究

## ① 危機及び災害時における救急透析医療システムの作成に関する調査・研究

医療安全対策委員会 [委員会のもとに3部会を置く]

## (1) 災害時透析医療対策部会

・平成14年度より、災害対策規程及び災害情報運用規則を設け、地域災害対策推進の拡大を図って来た。

・平成16年度は、ブロック別災害時救急透析医療システムの構築を図る。

## (2) 感染症対策部会

院内感染実態調査及び感染防止対策の調査・研究

## (3) 医療事故対策部会

医療事故実態調査及び事故防止対策の調査・研究

## ② 長期透析患者の合併症に対する調査・研究

合併症対策委員会

- (1) 透析導入の初発原因（原疾患・病因等）に関する調査・研究
- (2) 患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究
- (3) 患者の長期生存に伴い発生する合併症及びその原因に対する調査・研究

3. 国等公的機関の実施する透析医療科学研究推進事業

厚生科学研究推進委員会

[委員会のもとに1部会を置く]

透析医療IT化推進部会

① 平成16年度厚生労働科学研究計画について

血液透析施設におけるC型肝炎感染事故（含：透析事故）防止体制の確立に関する研究（3年計画 3年目）

4. 学術調査研究会等特定公益増進法人助成推進事業

学会等研究助成審査委員会

（助成先の適合審査の実施）

学会等研究助成交付審査委員会

（助成金の交付審査の実施）

- ① 平成15年度は、12件の助成推進事業を実施した。
- ② 平成16年度は、特定公益増進法人助成推進事業の一層の拡大を図ることとする。

5. 腎移植普及推進に関する事業

腎移植普及推進委員会

- ① 会員及び患者に対しての協力・普及を目的とする。
  - (1) 臓器移植推進月間・腎バンク及び地方腎移植推進システムへの協力
  - (2) 会員に対する腎移植の啓発・教育  
（脳死問題を含む講演会及び腎移植広報活動等）
  - (3) 患者に対する腎移植推進  
（会員の日常業務として、地区患者を対象とする推進協力）
  - (4) 関係団体への協力事業  
（医療施設や遺族に対するドネーションの啓発）
  - (5) 腎移植コーディネーター問題の研究

6. 腎不全予防医学の調査研究事業

腎不全予防医学調査研究委員会

- ① 透析導入を予防し、残腎機能を維持させるための調査・研究  
透析導入前の慢性腎不全患者に対する保存的維持療法の調査・研究及び関係団体への協力について推進する。

7. 研修等事業

研修委員会

- (1) 腎不全臨床医療スタッフの研修会（シンポジウム、セミナー）の開催
- (2) 学術研究への協力
- (3) 関係学会・団体との研究協力
- (4) 国内講演会等の開催

## 8. 広報活動及び刊行物の発行に関する事業

## 広報委員会

## ① 機関誌等の発行

- (1) 医会雑誌（年3回発行）  
内容充実に一層の努力をする。
- (2) 医会ニュース・速報等  
必要の都度発行する。

## 9. 会員の教育・研修及び倫理向上に関する調査研究事業

## 倫理委員会

## ① 会員の倫理向上に関する調査・研究

## 10. 情報の公開等適正管理及び情報管理に関する事業

## 情報管理委員会

- ① 本会が保有する文書、図画、図面及び電磁的記録等の情報公開の管理、適正保管及びその創意工夫等の調査研究
  - ・平成14年度より、情報管理規程を設け、情報公開等の適正活用を推進している。
  - ・平成16年度は、引き続き既存ホームページの内容充実並びに関係団体への情報提供の拡大を図る。

## 平成16年度予算（案）

## [収入の部]

(単位：千円)

区 分	平成15年度予算	平成16年度予算（案）	増 減
1. 会費収入	78,000	79,000	1,000
2. 入会金収入	390	500	110
3. 寄付金収入	110,000	136,294	26,294
4. 雑収入	30	200	170
5. 受取利息	6	2	-4
6. 会場収入	0	400	400
7. 前年度繰越金	9,925	7,148	-2,777
計	198,351	223,544	25,193

## [支出の部]

(単位：千円)

区 分	平成15年度予算	平成16年度予算（案）	増 減
1. 事業費	168,268	189,769	21,501
2. 管理費	20,935	24,775	3,840
3. 予備費	2,000	2,000	0
4. 次年度繰越金	7,148	7,000	-148
計	198,351	223,544	25,193

## 支出の部内訳

(単位：千円)

区 分	平成 15 年度予算	平成 16 年度予算 (案)	%	増 減
I 事業費 (調査研究事業費)	168,268	189,769		21,501
1. 適正透析療法委員会				
(1) 適正透析導入部会	1,411	564	0.30	-847
(2) 維持透析療法部会	893	909	0.50	16
(3) 適正透析普及部会	1,309	1,308	0.70	-1
(4) 適正医療経済部会	6,209	7,357	3.90	1,148
(5) 医療廃棄物対策部会	627	702	0.40	75
(6) 在宅血液透析部会	481	490	0.30	9
(7) 医療制度検討部会	1,169	584	0.30	-585
2. 地域透析医療システム				
(1) 災害時透析医療対策部会	7,103	6,356	3.35	-747
(2) 感染対策部会	0	3,881	2.05	3,881
(3) 医療事故対策部会	0	0		0
(4) 合併症対策委員会	3,543	3,777	1.99	234
3. 腎移植普及推進委員会	9,268	5,788	3.05	-3,480
4. 腎不全予防医学調査研究委員会	112	112	0.06	0
5. 研修委員会	11,217	10,046	5.29	-1,171
6. 広報委員会	10,981	11,000	5.80	19
7. 情報管理委員会	0	0		0
8. 内規委員会	0	0		0
9. 倫理委員会	360	360		0
10. その他の事業				
(1) 学会助成費	113,315	135,082	71.24	21,767
(2) 厚生科学研究推進委員会	0	907	0.47	907
(3) 研究助成交付審査委員会	270	546	0.29	276
II 管理費				
1. 人件費	11,475	13,365		1,890
2. 家賃	2,500	2,350		-150
3. その他の経費	6,960	9,060		2,100
III 予備費	2,000	2,000		0
IV 固定資産取得支出	0	0		0
V 次年度繰越金	7,148	7,000		-148
計	198,351	223,544		25,193

## 管理費内訳

(単位：円)

	平成16年度 (案)	按分率	按 分	
			管理費	事業費
人 件 費	26,730,000	50%	13,365,000	13,365,000
給 料	21,000,000	50%	10,500,000	10,500,000
法定福利費	2,400,000	50%	1,200,000	1,200,000
通 勤 費	450,000	50%	225,000	225,000
賃 金	2,880,000	50%	1,440,000	1,440,000
賃 借 料	4,700,000	50%	2,350,000	2,350,000
その他経費	15,915,000	50%	9,060,000	6,855,000
旅費交通費	600,000	50%	300,000	300,000
会 議 費	50,000	50%	25,000	25,000
交際接待費	50,000		50,000	0
福利厚生費	210,000	50%	105,000	105,000
印刷製本費	1,000,000	50%	500,000	500,000
通信運搬費	1,400,000	50%	700,000	700,000
事務・消耗品費	1,400,000	50%	700,000	700,000
委 託 費	1,800,000	50%	900,000	900,000
報酬(要源泉)	700,000	50%	350,000	350,000
諸 謝 金	0	50%	0	0
水道光熱費	350,000	50%	175,000	175,000
諸 会 費	300,000	50%	150,000	150,000
租 税 公 課	5,000		5,000	0
慶 弔 費	50,000		50,000	0
雑 費	500,000	50%	250,000	250,000
常任理事会費	3,000,000		300,000	2,700,000
総会・理事会費	1,000,000		1,000,000	0
会員ソフト	3,500,000		3,500,000	0
管 理 費 合 計	47,345,000		24,775,000	22,570,000

第3号議案

会費見直しについて

年会費の見直し

区分	現在				見直し後				
A 会員	私的機関の開設者及び透析関係の責任者				私的機関の院長，管理者及び透析責任者のいずれかに該当する者 サテライトの所長（院長），管理者及び透析責任者				
	透析装置台数	A 1	30 以上	150,000 円	A 1	30 以上	140,000 円		
		A 2	10~29	100,000 円	A 2	20~29	90,000 円		
		A 3	1~9	50,000 円	A 3	10~19	80,000 円		
入会金	一律 30,000 円				一律 30,000 円				
B 会員	公的機関の開設者及び透析関係の責任者				B 会員	公的機関に勤務する医師，私的機関の院長，管理者及び透析の責任者以外の勤務医			
	一律 10,000 円					一律 10,000 円			
C 会員	私的・公的機関の勤務医及び同一機関において複数の会員がいる場合								
	一律 2,000 円								

年会費の試算

(単位：千円)

ランク	会員数	案の1		案の2		案の3		案の4		現行年会費	
		年会費	金額	年会費	金額	年会費	金額	年会費	金額	年会費	金額
A 1	401	120	48,120	130	52,130	140	56,140	130	52,130	150	60,150
A 2	174	100	17,400	100	17,400	90	15,660	100	17,400	100	17,400
A 3	130	80	10,400	80	10,400	80	10,400	80	10,400	100	13,000
A 4	57	50	2,850	50	2,850	30	1,710	50	2,850	50	2,850
B	458	6	2,748	6	2,748	10	4,580	10	4,580	10・2	2,892
計	1,220		81,518		85,528		88,490		87,360		96,292

## 試算による各年度の決算状況

(単位：千円)

		16年度	17年度	18年度	19年度
案の1	会費	81,518	81,518	81,518	81,518
	前年度より	18,800	15,318	11,836	8,354
	収入の計	100,318	96,836	93,354	89,872
	支出の計	85,000	85,000	85,000	85,000
案の2	会費	85,528	85,528	85,528	85,528
	前年度より	18,800	19,328	19,856	20,384
	収入の計	104,328	104,856	105,384	105,912
	支出の計	85,000	85,000	85,000	85,000
案の3	会費	88,490	88,490	88,490	88,490
	前年度より	18,800	22,290	25,780	29,270
	収入の計	107,290	110,780	114,270	117,760
	支出の計	85,000	85,000	85,000	85,000
案の4	会費	87,360	87,360	87,360	87,360
	前年度より	18,800	21,160	23,520	25,880
	収入の計	106,160	108,520	110,880	113,240
	支出の計	85,000	85,000	85,000	85,000

## 第4号議案

## 顧問配置について

さくらどう わたる  
櫻堂 渉

慶應義塾大学院経営管理研究科修士。バクスター株式会社。株式会社システム総合研究所。現在株式会社医療経営戦略研究所代表取締役。

たておか わたる  
立岡 亘

名城大学第二法学部卒業。後藤・太田・立岡法律事務所。愛知県医師会争訟事務嘱託。愛知県教育委員会争訟事務委嘱。特定医療法人衆済会理事。社団法人日本臓器移植ネットワーク・東海北陸ブロック評価委員会委員。株式会社VTホールディング監査役。名古屋簡易裁判所民事調停委員。名城大学大学院法務研究科教授。

## 平成 16 年度通常総会での主な決定事項

### 山崎親雄会長挨拶

本日はご多忙にもかかわらずご出席いただきましてありがとうございます。

一年間を振り返ってみまして、先ず一つは、われわれにとって最大の関心でありました 16 年度診療報酬改定は、後ほど総会資料の中でご説明申し上げますが、三つの項目（人工腎臓点数の適正評価、透析液エンドトキシン処理加算点数の新規導入、専用透析室内感染対策加算の新規導入）について、かなり積極的な要望を展開してまいりました。三度にわたり訪省し充分にお話を聞いていただきました。

最終的に診療報酬に関して、本体については触らずという答えになったものですから、加算の点数に関しても、それから透析時間区分の復活に関してもすべて認められませんでした。これは別に透析だけに限ったことではなくて、ほかの医療も含め、すべて本体部分は触らずということになりました。ただ保険医療材料、薬価、検査に関しての差額は実勢価格調査に基づく価格の調整が行われました。1 回透析当たり約 800 円マイナスと計算しております。今回の診療報酬改定で本体は触らなかったものも、なかなか厳しい医療機関経営になるのではないかと考えております。

二番目は、昨年、その以前から透析医会が主になりました班研究をいくつか進めてまいりましたが、MINT と呼ばれている新しい IT のシステムを用いた合併症管理に関しては、昨年で一応その研究が終了いたしました。最終的に、MINT の新しいシステムと診療マニュアルが入ったものが、まもなく皆さんのお手元に配布されるものと思います。当初透析に関する定期検査の生化学検査に関する基準値を設定いたしました。最終的に 3 年経ちましたところで、データも集積され基準値の見直しも行われております。

それからもう一つの研究では、日本透析医学会の理事長と連名で院内感染対策、特にウイルス肝炎の集団感染に関する緊急の勧告書を出させていただきました。資料としてすでにご存知の通り、約 6 割の施設では 1 年間にまったく C 型肝炎のゼロコンバージョンが起こっていないにもかかわらず、日本全国でいいますと 2.2% の抗体陽性率が報告されました。最初これを目にしたときに、出すべきかどうか迷いました。といいますのは、本当にその数字が正しいものなのか、信憑性にかけるものではないかという気もいたしました。しかしながら、従来よりいろいろの研究者による報告とか、最近では DOPPS と呼ばれているアウトカムに関する国際比較をしている研究の中では、なんと日本の C 型肝炎の抗体陽転率は年間 3.6% だという報告がありまして、われわれが持った数字も決して間違いではないという確信を得ましたので、それをもとに緊急勧告をさせていただきました。これをもとに本当に院内感染が減ればそれにこしたことはないと考えております。

最後にこれからの問題です。ご存知のように日本医師会の会長選挙が行われました。新しく植松治雄先生が医師会長になりました。そのキャビネットをみますと、常任理事の中に透析を主として自分のところでやってこられた先生が 6 人おみえになります。さらに医師会の代議員をみますと、9 人の先生が透析医療に関係されておられるという、今回の会長選挙に引き続いたキャビネットができあがりました。沢山の先生方が透析に関係しているということで、おいしい話があるとはまったく思っておりませんし、何でもかんでも無理やりお願いするというわけにもいきませんが、今までのような継子扱いではなく、是々非々で透析の姿をご説明すれば医師会の先生方にもご了解していただけるのではないかと考えております。

ここから先の話に関しては、またあらためて皆様とともに考えながら、来年、再来年の診療報酬改定に向けて、一体われわれは何ができるのかということをご相談しながら進めていきたいと考えております。

これで私の挨拶は終わりますが、本日は会費の見直しまで含めていくつかの議案があります。どうぞ十分ディスカッションいただいて、ご決議いただきますとありがたいと思います。

## 議 事

第1号議案：平成15年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

第2号議案：平成16年度事業計画及び予算の承認を求める件

第3号議案：会費見直しの承認を求める件

第4号議案：経営および訴訟問題に対し相談できる顧問配置の承認を求める件

第5号議案：その他

以上について審議し承認されました。総会の主な内容については以下に要約し、最後に質疑応答に関して「Q & A」方式でまとめました。

## 平成15年度事業報告について

通常総会、理事会、常任理事会および各委員会の活動報告がされました。その中で主な内容について報告します。

### 1. 日本透析医会シンポジウム（平成15年11月9日）

「維持透析患者の血圧管理」について

### 2. 日本透析医会研修セミナー（平成16年3月7日）

「透析医療における Current Topics 2004」

### 3. 厚生労働科学研究「長期透析に伴う合併症の克服に関する研究」

厚生労働科学研究の3年計画3年目にあたり、Phase 2で作製したMINTシステムを会員施設に頒布し、多くの施設から患者データを返送いただき、検査基準値を見直しました。さらに「診断と治療マニュアル」を作成し各施設へ頒布、合併症の防止、治療対策の強化を図りました。

最終的にこの基準値を見直した「Phase 3」と「診断と治療マニュアル」を合わせたCD-ROMを今年度中に会員施設に頒布する予定であります。

### 4. 厚生労働科学研究「血液透析施設におけるC型肝炎感染事故（含：透析事故）防止体制の確立に関する研究」

透析施設のC型肝炎新規感染率は2.2%/人・年、限られた施設で新規感染が多発することから、具体的、重点的かつ効率的な対策を緊急勧告として発しました。

事故についての全国調査では、「透析医療事故防止のための標準的操作マニュアル」はより高い認知を得、事故対策が進んでおります。しかしブラッドアクセス関連事故は34.3回/100万透析みられ、減少していません。ことがわかりました。

「事故の定義」についてはレベル3以上とすることで97.7%の施設から賛同をえられ、レベル3以上を事故（アクシデント）として扱うことになりました。

さらに、安全を考慮した適正スタッフ数・施設基準を研究するためのツールを開発し、大規模調査を実施しました。

### 5. 透析医療のグランドデザインの作成

透析需要と提供体制について、人口動態予測と受療率の変化等に基づく今後の透析患者数予測、透析患者数の変化に伴う透析関係のスタッフの予測を行い、財政面については、日本透析医会レセプト調査データおよび国民医療費統計を用いて、透析医療費の将来予測を行いました。詳細については医会雑誌に発表される予定です。

### 6. 災害対策

災害対策の一環として、平成15年7月に災害用のサーバーを専用に変更しました。耐震性、高気密性を有し自家発電装置などを備えた東京NTTデータセンター内にレンタル設置しました。さらにこのデータセンターが被災した場合のことも想定して、大阪に設置されているサーバーにも同様の機能を有した副サイトを構築

し、災害対応に万全を期しております。これに伴い「災害時情報伝達・集計専用ページ」と「災害時メーリングリスト」をこのサーバーに移設しました。

「災害時メーリングリスト」は、厚生労働省、日本透析医学会危機管理小委員会および統計調査委員、透析医会情報ネットワーク委員の各先生（現 169 アドレス）が登録し、災害時伝達網の拡充を図っております。次年度はさらに医薬品・医療機器メーカーの参加を予定しております。

#### 7. 平成 16 年度診療報酬改定に向けての要望書

- 1) 人工腎臓点数の適正評価：透析医療の質を確保するため、透析時間区分を復活し、技術料の適正な評価を要望。
- 2) 透析液エンドトキシン処理加算点数の新規導入：透析液中のエンドトキシンについて、一定基準で処理をした場合は、人工腎臓所定点数に加算を要望。
- 3) 専用透析室内感染対策加算の新規導入：厚生労働省が定める基準により、専用透析室を設け、感染症対策を実施している場合には、人工腎臓所定点数に加算を要望。

#### 平成 16 年度事業計画について

平成 16 年度事業は基本的に前年度事業を継続することが承認されましたが、新規事業、重点項目としては以下のものがあげられます。

#### 1. 「血液透析施設における C 型肝炎事故（含：透析事故）防止体制の確立に関する研究」（厚生労働科学研究，3 年計画の 3 年目）

C 型肝炎感染防止対策として、マニュアルと緊急勧告により肝炎新規発生は減少してきているのか、B 型肝炎ワクチンはどこまで普及したか、個人用ヘパリン生食液の普及は肝炎感染事故を減少させるか、などの調査と必要に応じたマニュアルの改訂を含む肝炎防止の最終提案をする予定です。

さらに、院内感染防止と事故防止に関するより効率的で具体的な提案、安全を考慮した施設基準を提示する予定です。

#### 2. 災害対策

災害時透析医療対策部会は、インターネットを利用した、①災害時情報伝達・集計サイトと、②災害時メーリングリストの 2 本立てで災害対応を考えています。

平成 16 年度は、ブロック別災害時救急透析医療システムの構築、都道府県支部の強化を計画します。47 都道府県のうち現在 34 支部が結成されておりますが、災害ネットにリンクしているのは 9 支部しかありません。今後支部の活動の場として利用をお願いしたい。さらに、透析に関係する代表的な医薬・医療機器メーカーのメーリングリストへの参加を予定しています。

#### 平成 15 年度決算および平成 16 年度予算について

平成 15 年度決算は総会資料のごとく承認されました。平成 14 年度は単年度マイナス 25,892,575 円でしたが、今年度は 20,847,801 円の黒字を計上できました。これは、会員数の増加と研究助成金（寄付金）が増加したためと考えております。

平成 16 年度予算案は総会資料のごとく承認されました。15 年度の 198,351,000 円に比べ、本年度は 223,544,000 円の予算を計上しました。

#### 会費見直しについて

年会費の問題点として、①当初会員登録された施設の透析台数が現状と一致していないため、透析台数に見合った会費が納入されていないこと、②A 会員の会費が若干高いのではないかという意見があること、③C 会員の

会費が安いのではないかという意見があることから、会費の見直し案を4通り提示し検討しました。将来寄付金がなくなって研究助成事業は縮小しても、医会の事業を存続させるために必要な予算は85,000,000円と試算されるので、この額を基本に会費の見直し案を作成しました。検討の結果、第3案が承認されました。A会員は年会費の若干の値下げ、従来C会員は値上げの結果となりました。

第3案は、A会員：私的機関の院長、管理者及び透析責任者若しくはサテライトの所長（院長）、管理者及び透析責任者。年会費はA1（透析台数30以上）=140,000円、A2（20～29台）=90,000円、A3（10～19台）=80,000円、A4（0～9台）=30,000円。従来、A1～A3まで3区分にしておりましたが、今回透析台数を4区分してA1～A4会員としました。

B会員：公的機関に勤務する医師、私的機関の院長、管理者および透析の責任者以外の勤務医。年会費は一律10,000円。

従来、B、C会員の区分があったのですが、B会員（公的機関の開設者および透析関係の責任者、年会費10,000円）とC会員（私的・公的機関の勤務医および同一機関において複数の会員がいる場合、年会費2,000円）を、B会員に一本化しました。年会費の算出にあたりまして、全会員に、年3回の医会雑誌、さらに「透析患者の合併症とその対策」、「腎不全マニュアル」などを頒布しております。その印刷、製本、送料を計算しますと、最低1人1万円は必要となりますので、従来C会員の先生には会費の値上げになりますがご理解ください。

なお、この改定による年会費は、昨年9月の施設現況調べによる透析装置の保有台数を基礎とします。当該調査票が未提出の施設については重ねて催促させていただきますが、それでも回答が得られない場合は医学会会員名簿の同時透析数を根拠とさせていただきます。

#### 経営および訴訟問題に対し相談できる顧問の配置について

透析医療に係わる診療報酬の厳しい状況の中、日常の施設経営において起こりうる経営上での諸問題、今後必要となってくる経理の公開および診療上における事故、医事紛争に対して、会員が気軽に相談できる顧問の配置が承認されました。

#### 総会での質疑応答

- Q：16年度事業計画及び予算案の件。昨年度の寄付金収入は110,000千円を見込んで実質88,289千円、今年度は136,294千円と5割以上の増加を見込んでいますが根拠はあるのでしょうか？  
A：今年度は学会、研究会への助成が7件73,000千円、学術研究助成が4件46,000千円、トータル約120,000千円がすでに決定しております。したがってその状況から計上した136,294千円の収入予算は達成しうる額と考えております。
- Q：昨年度は、特定公益増進法人を維持するための70%（事業比率）をクリアできなかったのではありませんか？ その場合はどういうことになるのですか？  
A：事業費全体の総額が一昨年度に比べると少なくなり、したがって分母も縮小したので、結果的に15年度も70%をクリア（70.66%）しました。
- Q：通院介護あるいは要介護透析患者の収容施設のことについては、透析医会として重点的に取り組むべき問題ではないかと考えます。そこで、合併症対策委員会の中の「患者の高齢化に伴う収容施設の相互連携化に対する調査・研究」という項目について、実際にどういうことを予定しているのか、現にやっているのでしょうか？  
A：現在のところ活動しておりません。確かに透析の問題として送迎の問題、高齢化の問題は重点項目と考えます。これについてはもう少し時間をいただきたい。
- Q：会費見直しの件。会費収入を増やすのは、会員増強しかないと思います。難題かもしれませんが、日本

医師会と同じような制度になればと思う。たとえば各県の医会に所属すれば、自動的に日本透析医会に所属するような制度の改革は困難でしょうか？

A：各県支部の会員数と医会会員数には大きな隔たりがあります。支部会員、即医会会員となれば、それが最善策と考えます。その意味で昨年度、各支部長さんに支部会員のうち透析医会の非会員について、入会の勧誘をお願いしましたが、実績はあまり上がりませんでした。現状では支部会員と同時に医会会員となることの制度化は難しいと考えます。ただ、会員増強についてはこの案も含め一度具体的に検討してみたいと考えます。

5. Q：C会員は、今何パーセントくらいですか？ 私どもはA会員と一緒にB、C会員を増やそうと努力していますが、必ずしもPRが充分行き届きません。最近の医会雑誌は非常に素晴らしいので、皆に閲覧を勧めております。PRの一つとして医会雑誌を送るのは如何でしょうか？

今回のC会員の会費アップは気になりますが、会員へ医会雑誌（年3冊）を頒布していることを考えれば1万円でも年会費としては安いと思います。

A：C会員は20%（230/1,200人）くらいです。C会員がB会員へ移行して会費がアップしますが、ぜひご理解とご協力をお願い致します。

6. Q：MINTシステムは大変有用だと思います。このシステムを皆さんにお配りして入会者の増加に繋がられませんか？

A：非会員へのMINT送付に関しましては、ソフトを開発したところから、透析医会の会員のためにという譲り受けていますので、基本的に透析医会の会員以外に提供するのは難しいかもしれません。現に、このMINTシステムを手に入れるために医会に入会された施設もあります。

7. Q：顧問配置の件。具体的にたとえば経営相談についてどういうふうにされるのか？ 医会の会員とどういうふうなコンタクトをとるのか？

A：顧問としての領域はどこまでか、という問題は難しいと思いますが、ご相談しているうちに無料の範囲（顧問としての範囲）と有料の範囲が提示されると考えます。一般的に相談内容が簡単なものは無料、一定以上の相談内容に関しては話し合いの上で有料となると考えております。

コンタクトの方法を医会のホームページへ掲載しますので、個別に連絡をとってご相談いただくこととなります。

A：来年度から厚生労働省の指導で、病院会計の制度が変更され、非常に明瞭に利益などが直ぐに算出される会計制度に変わる予定です。この時期にタイミングとしては非常にタイムリーと考えます。

このお二人は透析について造詣が深く、透析に特定した相談ができるエキスパートですので、きっと皆様のお役にたてると考えております。

8. Q：透析時間の件。診療報酬改定の要望書について、4時間透析のことは書いてあるが5時間透析のことに書いてないのはなぜですか？

A：5時間透析は、アウトカムから考え4時間透析より良いと考えますが、5時間透析を基準に要望書を出して、5時間以上にかなりの点数が付いて5時間未満の点数が大幅に下がったときに、はたして納得される医療機関がどれほどあるのか、医会としての役目を果たせるのか、大変大きな問題として悩みました。それでは透析時間は5時間で良いのか、6時間のほうが良いのではないかと、という意見も含め検討し、結論は大多数の施設で実施している4時間以上を選択しました。

透析時間については、今後も検討していきたいと考えております。ご理解ください。

（文責 杉崎弘章）

## (社) 日本透析医会通常総会議事録

1. 会議の種類 平成16年度 通常総会
1. 開催場所 損保会館4階 406号室(東京都千代田区神田淡路町2-9)
1. 開催日時 平成16年5月16日(日) 午後2時00分～4時00分
1. 会員総数 1,215名
1. 出席会員数 635名 内訳 本人出席 26名 書面出席 609名
1. 議事の経過

定刻に到り事務局長水本進氏から、本日の通常総会出席会員数は定足数を満たしたので、有効に成立した旨告げられた。

初めに会長山崎親雄氏から挨拶があり、併せて本日の総会議長の選出が諮られ、満場一致をもって吉田豊彦氏が選任された。

吉田議長は、挨拶に続き議事録署名人に鈴木正司氏および小野山攻氏の両名を指名し、両名とも満場一致で選任された。

続いて議案の審議に入った。

### 第1号議案 平成15年度事業報告及び収支決算の承認を求める件

常務理事山川智之氏から、総会資料に基づき事業報告について、1.会議 2.委員会 3.会務報告の順に説明があり、続いて専務理事杉崎弘章氏から、同様に収支決算について詳細な説明が行われた。引続いて監事鈴木満氏から、平成15年度決算の監査結果は妥当であった旨報告された後、議長による採決が行われ、満場一致で承認された。

### 第2号議案 平成16年度事業計画及び予算の承認を求める件

常務理事山川智之氏から、総会資料により前年度事業実績に基づく16年度事業計画(案)の概要、続いて専務理事杉崎弘章氏から、同様に予算(案)の説明が行われた。内容の詳細について質疑応答が行われた後、議長による採決の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

### 第3号議案 会費見直しの承認を求める件

事務局長水本進氏から、年会費の見直しに関し、経緯、必要性および年会費額の試案について、総会資料に沿って詳細な説明が行われた後、議長により採決の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

### 第4号議案 経営及び訴訟問題に対し相談できる顧問配置の承認を求める件

会長山崎親雄氏から、提案趣旨と顧問候補者についての説明が行われた後、議長により採決の結果、満場一致で原案どおり可決承認された。

### 第5号議案 なし

次回診療費改定に対する要望事項、会員拡大方策等について自由討論が活発に行われた。

午後4時00分をもって通常総会の議案すべてを終了し、議長は閉会を宣し解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、議長並びに議事録署名人がこれに署名押印する。

平成 16 年 5 月 16 日

社団法人日本透析医会通常総会に於いて

議 長 吉田豊彦 

議事録署名人 鈴木正司 

同 小野山 政 

## (社) 日本透析医会 役員名簿

平成16年4月1日現在

役職名	氏名	現職
会長	山崎親雄	医療法人衆済会 増子記念病院附属則武診療所 所長
副会長	吉田豊彦	医療法人社団誠仁会 理事長(みはま病院)
	大平整爾	医療法人社団恵水会 札幌北クリニック 院長
専務理事	杉崎弘章	医療法人社団心施会 理事長(府中腎クリニック)
常務理事	小野山攻	医療法人小野山診療所 理事長
	鈴木正司	社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園病院 副院長
	廣田紀昭	廣田医院 院長
	山川智之	特定医療法人仁真会 理事長(白鷺病院)
理事	井形昭弘	名古屋学芸大学 学長
	太田和夫	太田医学研究所 所長
	山下眞臣	社団法人日本国民年金協会 理事長
	澤宏紀	鈴鹿医療科学大学 学長
	前田憲志	医療法人有心会 理事長(大幸砂田橋クリニック)
	藤見惺	医療法人医心会福岡腎臓内科クリニック 院長
	松田鈴夫	国際医療福祉大学 教授
	秋澤忠男	和歌山県立医科大学 血液浄化センター 教授
(東北)	関野宏	医療法人宏人会 理事長(宏人会中央病院)
(東北)	村上秀一	医療法人三良会 村上新町病院 院長
(関東)	黒田重臣	独立行政法人国立病院機構 静岡医療センター 院長
(関東)	秋葉隆	東京女子医科大学腎臓病総合医療センター血液浄化部門 教授
(甲信越)	土屋隆	医療法人輝山会 理事長(輝山会記念病院)
(中部)	指出昌秀	医療法人社団一秀会 理事長(指出泌尿器科)
(関西)	後藤武男	高砂市民病院 名誉院長
(関西)	小野利彦	医療法人桃仁会 理事長(桃仁会病院)
(中国)	土谷晋一郎	医療法人あかね会 理事長(土谷総合病院)
(中国)	原田知	医療法人社団一陽会 原田病院 院長
(四国)	寺尾尚民	医療法人尚腎会 理事長(高知高須病院)
(九州)	隈博政	医療法人くま腎クリニック 理事長
(九州)	工藤寛昭	医療法人杏和会 工藤医院 院長
監事	鈴木満	医療法人松圓会 名誉理事長(東葛クリニック)
	岩月史郎	弁護士
	伊原美好	公認会計士
名誉会長	稲生綱政	医療法人大坪会 東和病院 名誉院長
	平澤由平	社会福祉法人新潟市社会事業協会 信楽園病院 顧問